

## 1. 略歴

- 1987年4月 東京大学教養学部文科三類入学  
1989年4月 東京大学文学部第一類（哲学専修課程）進学  
1992年3月 東京大学文学部第一類（哲学専修課程）卒業  
1992年4月 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程入学  
1994年3月 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程修了  
1994年4月 東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程進学  
1996年3月 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻哲学専門分野博士課程退学  
1996年4月 四国学院大学文学部人文学科 専任講師  
1999年4月 四国学院大学文学部 助教授（～2007年3月）  
2003年8月 トロント大学哲学部 [Department of Philosophy, University of Toronto] 訪問教授 [Visiting Professor]  
（～2004年7月）  
2007年4月 四国学院大学文学部 准教授  
2010年4月 四国学院大学文学部 教授  
2014年4月 東京女子大学現代教養学部人文学科哲学専攻 教授（～2019年3月）  
2017年4月 東京女子大学比較文化研究所副所長、兼丸山眞男記念比較思想研究センター副所長（～2019年3月）  
2019年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

哲学、特に近世・近代から現代に至る英語圏の哲学と形而上学

### b 研究課題

近世・近代から現代に至る英語圏の哲学に基盤を置きながら、哲学的なコスモロジー（宇宙論）の可能性を探求している。具体的なテーマとしては、

- (1) 19世紀後半から20世紀前半にかけての北米の哲学者、特にパース、W.ジェイムズ、ホワイトヘッドにおける形而上学についての考察
  - (2) D.ルイスやレッシュャーら、現代の哲学者の形而上学についての考察
  - (3) 哲学的なコスモロジーについての歴史的研究
- を課題としている。

### c 概要と自己評価

先述の具体的なテーマの(1)については、次項の「命題の発話者とは誰か」において、パースが「プラグマティズムの成果」（1905）で提示した一般性と曖昧性の概念、そして、それを表す命題に対して、それぞれ排中律と矛盾律が適用されないという、一見、奇妙な主張の解明を試みた。これは先述の(2)にも関係するが、現代の哲学者、たとえばティモシー・ウィリアムソンやロバート・レーンなどがこのパースの主張に整合的な解釈を与える試みを行ってきたが、本論文においては、パースが当該の論文の前後に書いた論文と照らし合わせるとき、命題の発話者を「自然・世界」、命題の解釈者を「探究者」と考えるならば、論理的な整合性を保ったまま、確定される以前の一般的な命題には排中律が適用されず、確定される以前の曖昧な命題には矛盾律が適用されないという事態を説明できると主張した。その背景には、先述の(3)と関連するパースの可塑的な世界という存在論的主張があり、それをさらに探究していく必要があることを確認でき、今後の研究の方向性が明らかになったと考える。研究に対する自己評価としては、パース、ジェイムズといった古典的プラグマティズムが背景にしている世界観の解明については、ある程度の道筋がついてきたものの、それを現代の議論へどのようにつなげていくかという点ではまだ十分ではなく、今後の課題としたい。

### d 主要業績

#### (1) 論文

乗立雄輝、「命題の発話者とは誰か」、東京大学大学院人文社会系研究科・文学部哲学研究室『論集』、39、1-17頁、2021.3

#### (2) 書評

沖永宣司、『始原と根拠の形而上学』、北樹出版、『実存思想論集』、XXXV、181-183頁、2020.6

(3) 啓蒙

乗立雄輝、「大学の場所、大学という場所」、『ひとおもい 3 号』、214-219 頁、2021.7

(4) 予稿・会議録

乗立雄輝、「ワークショップ報告 マクダウェルにおける合理性の概念をめぐって」、『世界哲学の中の西田幾多郎』  
(哲学雑誌第 135 巻第 808 号)、哲学会編、139-141 頁、2021.10

**3. 主な社会活動**

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、東京女子大学、「4 年次演習」、2020.4～2021.3、大学院科目「人間文化科学基礎演習」、2020.4～2020.7、  
大学院科目「人間文化科学研究法」、2020.9～2021.3

非常勤講師、聖心女子大学、「哲学・倫理学特講 X III, X IV」、2020.4～2021.3

(2) 学会

哲学会、理事、2019.4～

日本感性工学会、理事、2018.4～

日本ホワイトヘッド・プロセス学会、理事、2019.10～

アメリカ哲学フォーラム、企画・運営委員、2018.4～